

報告事項ソ

韓国江原道との生涯スポーツ交流事業について

韓国江原道との生涯スポーツ交流事業について、別紙のとおり報告します。

平成20年8月19日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

韓国江原道との生涯スポーツ交流事業について

スポーツセンター

1 経緯

- (1) 平成17年度に実施された「鳥取県・江原道教育交流10周年記念スポーツ交流事業（全国スポレク祭のリハーサル大会への参加）」に韓国江原道の生涯スポーツ選手団が参加。
- (2) 平成18年度に鳥取県で開催された「全国スポレク祭」に、韓国江原道の生涯スポーツ関係団体の役員が来県し、各競技を視察。
- (3) 19年度から韓国江原道生活体育協議会（以下「体育協議会」という。）との生涯スポーツに関する交流事業（本県のスポレク祭と江原道民生活体育大会への選手団の相互派遣）がスタート。
- (4) 19年度は本県から韓国側に選手団（37名）を派遣。

2 現在の状況

- (1) 20年度は韓国江原道選手団を受け入れる予定で、「競技種目」や「参加人数」等を確認するなど準備をしていたが、20年5月9日に、体育協議会から「今年度の選手団の派遣中止」と「今後の交流継続のための協定書締結」の申し入れが交流推進課経由であった。

〔申し入れの内容〕

- 当初は、鳥取県の招請計画どおりに考えていたが、政府施策で推進される新規事業（全国高齢者生活体育大会）等の関係で派遣計画の修正が必要になった。
- そのため、今年度は選手団の派遣ではなく、役員（5～6人程度）だけの派遣として、その際、鳥取県との今後の持続的な交流事業のための協定書を締結し、当該交流事業を施策化し、予算計上等の手続きを定例化したい。

- (2) 上記申し入れ事項について、再度体育協議会に確認したところ、次のような回答があった。
(7/16 交流推進課を通して回答あり)

〔回答内容〕

- 今年度の選手団の派遣については、行政上の準備不足等もあり中止ということで改めてお願いしたい。
- 役員の派遣は、当初の予定どおり10月のスポレク祭の期間中に派遣したい。
- 鳥取県スポーツセンターは体育協議会と同じく民間団体と勘違いしており、協定書が必要と考えていた。スポーツセンターが県教育委員会の機関ということが分かったので、**協定書の締結は不要**と考えている。(行政レベルでの協定も不要。→ 既に締結済み)

3 今後の対応方針

- (1) 韓国江原道選手団の受け入れについて
 - ア 江原道庁及び体育協議会等の都合もあり、やむを得ないものと判断できるので、**今年度の韓国側の選手団受入は中止**。
 - イ 今年度は体育協議会の要望どおり役員のみを受け入れる。ただし、今後の韓国側の状況によっては、変更になる可能性もある。
 - ウ 来日期間は、県スポレク祭が開催される10月24日からの数日間を想定。
- (2) 来年度の交流種目・派遣人数等について
今年10月の体育協議会の役員等の来日時に最終決定する。なお、来年度の予算要求の関係もあるので、現在体育協議会と派遣人数等について調整中である。